

NO. 3
近畿地方整備局
事業評価監視委員会
(平成15年度第2回)

近畿地方整備局事業評価監視委員会

(平成15年度 第2回)

足羽川ダム

平成15年 8月 5日

国土交通省 近畿地方整備局

足 羽 川 ダ ム 建 設 事 業

1. 足羽川ダム建設事業の概要

2. 事業の進捗状況

3. 足羽川ダム計画（見直し後）

4. 事業を巡る社会情勢等

5. 対応方針

6. 足羽川ダムについての

九頭竜川流域委員会での審議状況

1. 足羽川ダム建設事業の概要

(1) 足羽川ダム位置図

九頭竜川流域図



足羽川は、池田町の冠山を水源とし福井市街地を流下したあと、今庄町の三国岳を水源とする日野川と合流し、約 4km 流下後、福井市大安寺付近で九頭竜川本川と合流し日本海にそそいでいます。足羽川の流域面積は約 415km²で九頭竜川水系の約 14% を占め、幹川流路延長は 61.7km で、支川日野川について大きな支川です。

旧足羽川ダム（見直し前）は、九頭竜川水系足羽川の福井県足羽郡美山町蔵作・東天田地先に建設予定の多目的ダムでした。足羽川の洪水調節と流水の正常な機能の維持、発電、水道用水の開発、工業用水の開発を目的としていました。

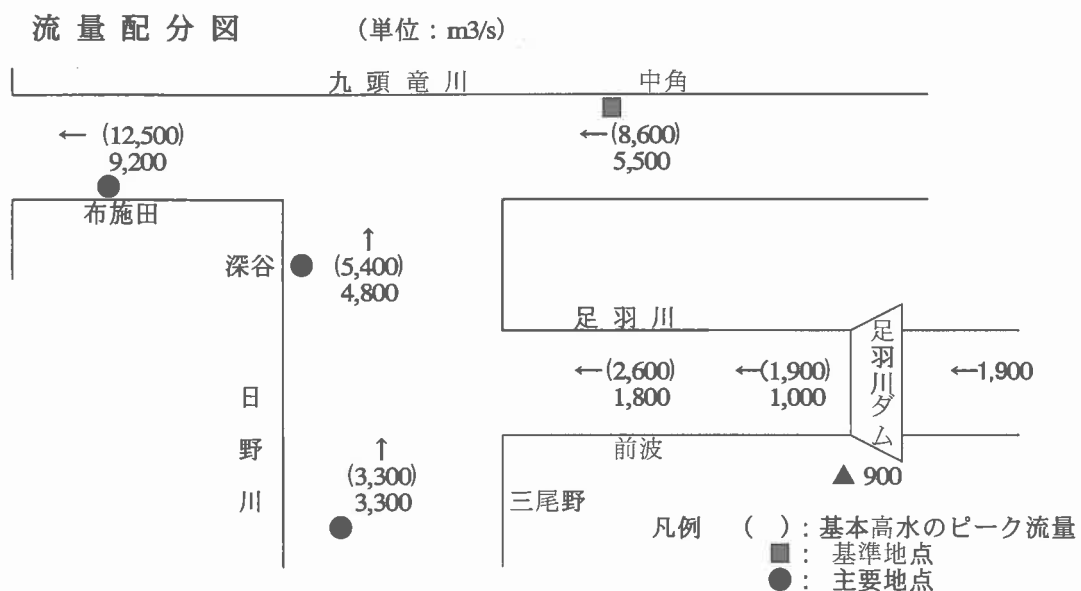
(2) 目的（見直し前）

■洪水調節

足羽川の前波地点の基本洪水のピーク流量 $2,600\text{m}^3/\text{s}$ を $1,800\text{m}^3/\text{s}$ に、日野川の深谷地点の基本洪水のピーク流量 $5,400\text{m}^3/\text{s}$ を $4,800\text{m}^3/\text{s}$ に、さらに九頭竜川の布施田地点の基本洪水のピーク流量 $12,500\text{m}^3/\text{s}$ を上流ダム群とあわせて $9,200\text{m}^3/\text{s}$ に低減します。

ダム地点における計画最大流入量 $1,900\text{m}^3/\text{s}$ のうち $900\text{m}^3/\text{s}$ の洪水調節を行います。

基本高水流量配分図



■流水の正常な機能の維持

10年に1回程度発生する規模の渇水でも足羽川に一定量以上の水が流れるように、ダムから水を補給します。河川が本来持っている機能を正常に維持するため、渇水時にダムからの流水の補給を行います。

■都市用水

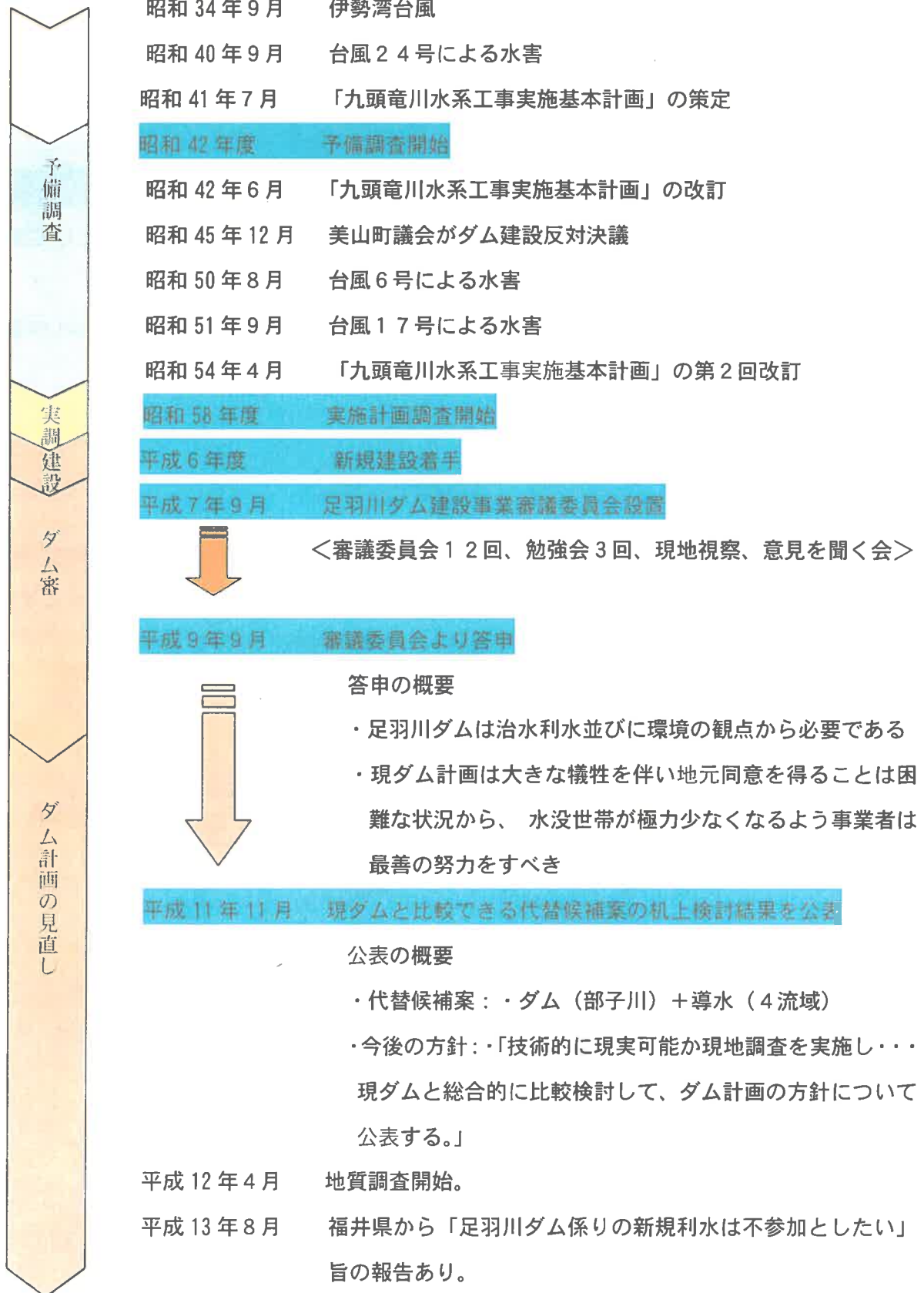
福井市水道用水として、 $0.289\text{m}^3/\text{s}$ の取水を可能とします。

福井県工業用水として、 $0.579\text{m}^3/\text{s}$ の取水を可能とします。

■発電

2. 事業の進捗状況

(1) 事業の経緯



平成 13 年 9 月 福井県に対し「足羽川ダムに係る水需給計画の確認について」依頼。

平成 13 年 11 月 代替候補案の地質調査結果の公表。

- ・重力式コンクリートダムでは 130m 級までの建設が可能な地質。

平成 14 年 1 月 福井県から「足羽川ダムに係る水需要計画」の回答

平成 14 年 5 月 九頭竜川流域委員会発足

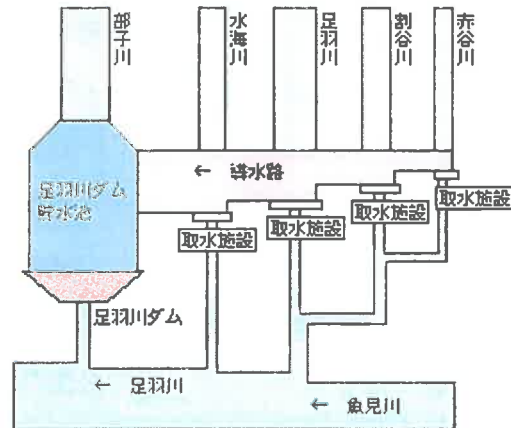
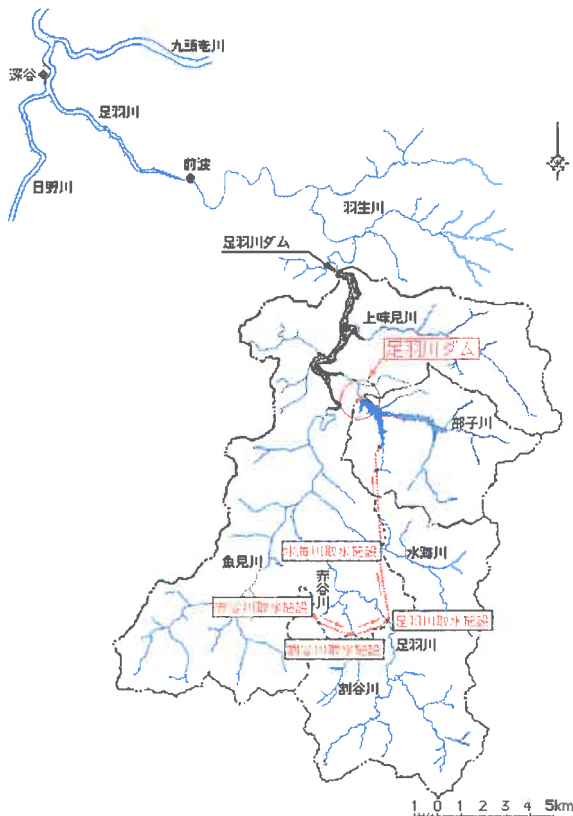
平成 14 年 7 月 九頭竜川流域委員会の場で、足羽川ダム計画方針を公表。

- ・今後、部子川のダムサイトを足羽川ダム計画として提案していきたい。

平成 14 年 7 月～8 月 美山町、池田町、関係団体に足羽川ダム計画について説明。

3. 足羽川ダム計画（見直し後）

ダム審議委員会以降、旧ダムサイトと総合比較し、平成 14 年 7 月に方針を公表した足羽川ダム計画は、九頭竜川水系足羽川の池田町小畑に建設する多目的ダムです。足羽川の洪水調節と流水の正常な機能の維持、発電を目的としています。



4. 事業を巡る社会情勢等

(1) 洪水被害の実績

発生年月日 (原因)	被害の状況
昭和 28 年 9 月 (台風 13 号)	死傷者 130 名、全半壊等 328 戸、床上浸水 7,154 戸、 床下浸水 5,195 戸
昭和 34 年 8 月	死傷者 3 名、床上浸水 4,575 戸、床下浸水 4,600 戸
昭和 34 年 9 月 (伊勢湾台風)	床上浸水 624 戸、床下浸水 3,162 戸
昭和 40 年 9 月 (奥越豪雨)	死傷者 19 名、全半壊等 24 戸、床上浸水 98 戸 床下浸水 171 戸
昭和 50 年 8 月 (台風 6 号)	床上浸水 2 戸、床下浸水 158 戸
昭和 51 年 9 月 (台風 17 号)	床上浸水 11 戸、床下浸水 462 戸

(2) 渇水被害の実績

発生年	被害の状況
昭和 48 年	7 月～8 月。農業用水の水配分トラブルの発生、福井市内の銭湯 (地下水) で操業短縮。
平成 6 年	足羽川堰堤 7 月 18 日から 1 ヶ月以上、用水の番水を実施 (3 日間で 1 日しか取水できない)。 日野川 塩水が遡上し、一部の水田で塩害が発生。

(3) 水需給の減少

平成 13 年 9 月 福井県に対し、水需要計画を確認。

福井市水道用水 0.289m³/s → 不参加

福井県工業用水 0.579m³/s → 不参加

6. 足羽川ダムについての

九頭竜川流域委員会での審議状況

(1) 審議状況

年 月 日	項 目	実施内容
平成 14 年 5 月 9 日	九頭竜川流域委員会発足 流域委員会（第 1 回）	・ 委員 22 名で発足 ・ 委員長に池淵委員を選出 ・ 委員会の情報公開、今後の進め方について審議
平成 14 年 6 月 11 日	流域委員会（第 2 回）	・ 九頭竜川水系の現状と課題について （水資源開発施設の現状も説明） ・ 流域委員会の進め方について
平成 14 年 7 月 6 日	流域委員会（第 3 回） （現地視察）	・ 現地視察 ・ 足羽川ダム計画方針の公表
平成 14 年 8 月 6 日	流域委員会（第 4 回）	・ 九頭竜川水系についての意見交換 ・ H14 台風 6 号出水の九頭竜川上流 3 ダムの出水効果について
平成 14 年 9 月 5 日	流域委員会（第 5 回）	・ 九頭竜川水系の治水について
平成 14 年 10 月 9 日	流域委員会（第 6 回）	・ 九頭竜川水系の治水について（県区間）
平成 14 年 11 月 7 日	流域委員会（第 7 回）	・ 九頭竜川水系の利水・環境について （渇水時のダム効果、建設中のダムを説明）
平成 14 年 12 月 26 日	流域委員会（第 8 回）	・ これまでの流域委員会の論点整理
平成 15 年 1 月 30 日	流域委員会（第 9 回）	・ 河川環境の整備と保全について
平成 15 年 2 月 26 日	流域委員会（第 10 回）	・ 治水整備目標について ・ 河川環境の整備と保全について
平成 15 年 3 月 28 日	流域委員会（第 11 回）	・ 流域における都市計画の現状 ・ 利水に目標設定にあたっての基本的考え方
平成 15 年 4 月 24 日	流域委員会（第 12 回）	・ 利水関係者からのプレゼンテーション ・ 利水に目標設定にあたっての基本的考え方
平成 15 年 6 月 26 日	流域委員会（第 13 回）	・ 河川整備計画の治水計画に関する説明
平成 15 年 8 月 1 日 （予定）	流域委員会（第 14 回）	・ 河川整備計画メニューの提示

(2) 第3回流域委員会説明内容

「総合的に判断し、代替候補案ダムの方が優位」であり、今後部子川サイトを足羽川ダム計画として提案していきます。

(3) 第4回流域委員会説明内容

今後の調査については、水理・水文調査及び流域委員会等での説明に必要な諸調査については継続していきます。新たな展開になるような調査（環境アセスメント法に基づく手続きの調査・補償基準の締結に向けての調査）については、足羽川ダムが河川整備計画に位置付けられた後に行います。

(4) 第14回流域委員会説明内容

河川整備計画メニューの中に新規のダム計画を含む場合があることを示しました。